



# 芸南トピックス



## 青空市「安浦ふれあい祭り」を開催しました

3月11日(土)、安浦支店(旧安浦支所)でJA総合事業のご案内や地元農産物を中心とした青空市「安浦ふれあい祭り」を開催しました。

ふれあい委員会のみなさまには豚汁とわたあめ等の出店をいただきありがとうございました。当日は天候にも恵まれ多くの組合員さんや地域のみなさま方にご来場いただきました。

ふれあい委員会および地域のみなさま方お忙しいところ誠にありがとうございました。

令和5年4月、9つのJAが合併し「JAひろしま」に生まれ変わりました。今まで以上に地域の農業とくらしを守るため「地域の拠り所となる支店」創りを目標に取り組んでまいります。

今後も、引き続き安浦支店へのご来店をお待ちしております。



問 安浦支店 (0823)84-2049  
担当/石田・坊垣内

あなたとわたしの  
ふれあい市

## JAひろしま ふれあい市安芸津店



ふれあい市は、『農業者の所得増大』『農産物の生産拡大』『地域の活性化』を基本目標とし、地産地消に取り組んでいます。

夏野菜の植え付けは終わりましたでしょうか？  
美味しい夏野菜ができるのが、楽しみです！  
5月から6月にかけてのふれあい市の情報をお届けしたいと思います。  
それでは、スタート！

5月中旬～  
6月上旬の  
おすすめ



マル赤馬铃薯  
5月下旬～

赤土の圃場で栽培されている馬铃薯。マル赤馬铃薯の名称で親しまれています。出荷は5月下旬ごろから始まります。

ハウスミニとまと



梅



そらまめ



スナップエンドウ



びわ

5月末～



びわは、5月末～6月の終わりにかけて出荷されます。品種は「長崎早生」から始まり、「茂木」、「福原」最後が「田中」です。近年の奨励品種「なつたより」も6月中旬ごろ少し出てきています。酸味が少なく甘くてジューシーな「びわ」の味が口いっぱいに広がります。

※写真はイメージです。

はちく・甘夏・ほうれん草など旬の野菜、果物が店頭に並びます！

### 出荷会員募集中

自慢の農産物を出荷してみませんか？  
興味のある方は下記の連絡先までお問い合わせください。

0846-46-1166

安芸津アグリセンター  
担当：高本まで





# 水稲

## 水田除草剤と箱苗処理について

水田除草剤および箱苗処理剤の使用は、次を参考にしてください。

### 【除草剤使用のポイント】

- ・使用後3〜4日間は3〜5cmの深水を保ち、かけ流しはしない事。
- ・水田の土が露出すると除草効果がなくなるため、均一になるよう丁寧な代かきを行なう事。

### 【箱苗処理剤のポイント】

- ・使用量に合わせて準備してください。(1箱あたり50g)
- ・育苗箱の苗に均一に散布し、茎葉に付着した薬剤は払い落したのち、軽くかん水してから田植え機等で移植します。

水稲 問 安浦店  
TEL 082318412049  
担当 桑原伸明

## 水田除草剤

	使用時期(参考)	薬剤名(主な特長)	使用量(10a)
2回処理 (田植前・後)	①田植前 7日~田植時	ピラクロフロアブル (初期除草)	500ml
		クリアホープフロアブル (初期除草・藻類に効果)	500ml
	②田植後 5日~25日	カイリキZ1キロ粒剤 (ノビエに長期効果)(ノビエ3葉迄)	1kg
		ジェイフレンドフロアブル (安定した効果)(ノビエ3葉迄)	500ml
		カイリキZジャンボ (投込み型でまきやすい)(ノビエ3葉迄)	10個(300g)
		天空1キロ剤 (難防除雑草に効果)(ノビエ3葉迄)	1kg
一発処理	移植直後~15日	カイリキZ1キロ粒剤 (ノビエに長期効果)(ノビエ3葉迄)	1kg
	移植1日後~15日	天空ジャンボ (投込み型でまきやすい)(ノビエ3葉迄)	10個(300g)
	移植3日後~15日	カイリキZジャンボ (投込み型でまきやすい)(ノビエ3葉迄)	10個(300g)
	移植5日後~15日	ジェイフレンドフロアブル (安定した効果)(ノビエ3葉迄)	500ml

## 箱苗処理剤(病害虫)

使用時期	薬剤名	主な特長
定植前処理	フルスロツトル箱粒剤	(病気)紋枯病・いもち病・白葉枯病・ごま葉枯病・もみ枯細菌病 (害虫)ウンカ類・イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ・ツマグロヨコバイ・ニカメイチュウ・フタオビコヤガ・イネツトムシ・コブノメイガ
	防人(さきもり)箱粒剤	(病気)いもち病・白葉枯病・ごま葉枯病・もみ枯細菌病 (害虫)ウンカ類・イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ・ツマグロヨコバイ・ニカメイチュウ・フタオビコヤガ・イネツトムシ・コブノメイガ

## 野菜

馬鈴しょの病害虫防除について  
開花の初期から後期にかけて、害虫の発生が多くみられる時期です。継続した防除の徹底を行ないましょう。

### 【防除例】

- 【アブラムシ(殺虫) + 疫病(殺菌)】
- 例①  
・殺虫・ジェイエース水溶剤(1,000倍液・収穫30日前まで、使用回数2回以内)
- 例②  
・殺虫・ウララDF(3,000倍液・収穫7日前まで、使用回数2回以内)
- ・殺菌・フオリオゴールド(1,000倍液・収穫7日前まで、使用回数3回以内)

### 【ヨトウムシ(殺虫)】

- 例  
・殺虫・ベネビアOD(4,000倍液・収穫7日前まで、使用回数3回以内)
- ・殺虫・ディアナSC(3,000倍液・収穫前日まで、使用回数2回以内)

## 【ジャガイモガ(殺虫) + 疫病(殺菌)】

- 例  
・殺虫・ランネット45DF(1,000倍液・収穫7日前まで、使用回数5回以内)
- ・殺菌・ペトファイター顆粒水和剤(2,000倍液・収穫7日前まで、使用回数3回以内)

## 野菜類の定植について

キュウリ、ナス、トマト等、代表的な果菜類の植え付け時期になりました。苗の流通は4月からありますが、5月上旬にはまだ夜温の低い日もあり、病気がかりやすい事があります。5月の中旬以降が植え付けに最適な時期となります。早めに買った苗はすぐに定植せず、鉢上げなどして、植え付け時期をずらすのも一つの手段です。

害虫対策としては、モスピラン粒剤、ジェイエース粒剤、ベストガード粒剤、ダントツ粒剤などで、定植時に植え穴に処理し土壌混和します。効き目が弱くなる事があるので、毎回同じ粒剤は使わず、交互に使用するなどしましょう。

## 【馬鈴しょの生産者のみなさまへ】

現在、馬鈴しょの「ウイルス病」が多発しています。感染源となる「アブラムシ」を防除しなければ、生産量が減少し、産地に大きな影響をもたらします。また、畑に残ったイモも感染源となるので、早めに除去してください。

い。種イモは健全なものを購入・更新し、切断するときも感染するので、包丁は殺菌しましょう。

## 【農業の安全使用基準を守り、生産工程管理日誌を提出しましょう!】

生産工程管理日誌は事故を未然に防ぐ、生産者・消費者を守るための大事な記録です。農業使用は細心の注意を払い、正確な記録・提出をお願いします。

野菜 問 営農経済課  
TEL 084614513360  
担当 久保勝義

## 果樹

### かんきつ

今月はみかん・中晩柑の外観品位を損なう病害虫の発生時期となり、また肥効の良い夏肥の時期です。開花期防除・夏肥施用を徹底しましょう。

また、みかんは全体的に成りが多い年回りですが、貯蔵養分の低下により異常生理落果の恐れがありますので、葉面散布・かん水をしっかりと行ないましょう。

### かん水(特に重要)

5月・6月でも乾燥が続けば生理落果を助長する為、かん水を行ないましょう。

## 開花期防除

今年は平年より開花期が早くなっていますので、早めの対策が必要です。

開花期の傷は果実肥大とともに拡大し、成比率低下の大きな原因になります。開花期の病害虫被害が毎年多い実態にありますので、防除を徹底して外観のきれいな果実生産を実施しましょう。

- ①開花初期：いしじ及び開花の早い園地では、コアオハナムグリやケシキスイ等の害虫による加害傷が品質低下を招きます。オリオン水和剤40(劇)1,000倍液を散布しましょう。
- ②五分咲期：灰色かび病と害虫対策でベルクート水和剤2,000倍液とエクシレルSE5,000倍液を混用して散布しましょう。
- ③落弁期：灰色かび病と黒点病対策でストロビドドライフロアブル3,000倍液とエムダイファー水和剤600倍液、また近年はミカンサビダニが非常に多く発生していますので、必ずアグリメック(劇)2,000倍液を混用して散布しましょう。
- ④固着性展着剤のアピオンE1,000倍液を混用し、付着性及び耐雨性を高めましょう。

## 葉面散布

開花期防除に併せ、元気一番1,000倍液と苦土と鉄分を同時に補給できるマグミーフE600倍液を混用散布しましょう。

## みかんの芽かき、開花後の弱剪定

今年着花量が少なく予想される園地では、芽と花の養分競合による生理落果を防ぐ為、一カ所から複数本出ている新梢を減らす芽かき処理と着花枝に被さった新梢や新葉の多い枝・徒長枝を間引く弱剪定を行ないましょう。

## 中晩柑類・レモン・かいう病の防除

前年にかいよう病が多発した園地では、前項の開花期の防除の他に、次の薬剤散布を行ないましょう。特に若木では必ず実施しましょう。

5月下旬〜6月上旬：コサイド3000 2,000倍液とクレフロン200倍液を混用散布しましょう。

## 夏肥の施用

年間の施肥時期の中では、5月下旬の夏肥が最も施肥効率が良く効果的です。

栽培管理指針を参考にし、品種ごとに確実に施用しましょう。

## 今年植え付けた苗木の管理

- ①芽かき  
下部7〜8芽から出る芽は全てかき取りましょう。その他は配置良く5本の新芽だけを残し、他の芽は全てかき取りましょう。
- ②施肥  
植え付け1カ月後に、柑橘の肥料40g程度を1カ月おきに施用しましょう。

③葉面散布  
 尿素600倍液を7日〜10日おきに散布しましょう。併せて葉面マグ600倍液の混用散布で春芽の緑化促進を図りましょう。

**びわかん水**

袋掛後、果実肥大期となり果実品質を決める重要な時期となります。雨が少なく乾燥が続くようであれば、10日間隔で10mm程度のかん水を実施しましょう。

**うさぎ 芽かき**

樹冠内が込み合い日陰になるのを防ぐとともに、果実の生育促進・高品質果実生産の為に行ないましょう。適期は、新しい芽の長さが5cm程度、展葉が3枚程度になったら行ないます。その際、外芽や横芽を中心に残すようにして、上向きの芽はかき取ります。逆に樹勢の弱い樹については、上向きの芽を残しましょう。

**病害虫防除**

そうか病は発育初期ほど感染しやすく、特に5月の降雨が多いと発病が多くなります。また2次感染を引き起こしますので、4月に定期防除を実施していない園地では、トップジンM水和剤1,500倍液で早急に防除を行ないましょう。

**かん水**

発育期の土壌乾燥は生育不良の原因となります。乾燥が続く場合は5〜7日間隔で、15〜20mm程度のかん水を実施しましょう。

**【農薬使用の注意点】**

- ・使用者自身の安全の為、農薬の製品ラベルに従った保護具を着用しましょう。
- ・環境への安全の為、周辺住民や農家に配慮し掲示版などで農薬の使用を事前に伝え、農薬が飛散してかからないように注意しましょう。
- ・作物の残留農薬が問題となつていますが、農薬の製品ラベルに従い、決められた作物種、使用量、使用時期、使用回数などを確実に守れば基準値を超えることはありません。但し、農薬ごとに作物名が似ているなど、間違いやすいものがありますので厳重に注意し使用してください。

**果樹問** 安芸津アグリセンター  
 TEL 0846-4510488  
 担当 広果連駐在技術員 須野田 祐也



**5月の野菜作付情報**

安芸津アグリセンターでは、直売所などJA出荷者の支援として、128穴セルトレイでの野菜苗の生産・供給を行なっています。数に限りがありますので、お早目にお問い合わせ頂きぜひご利用ください。



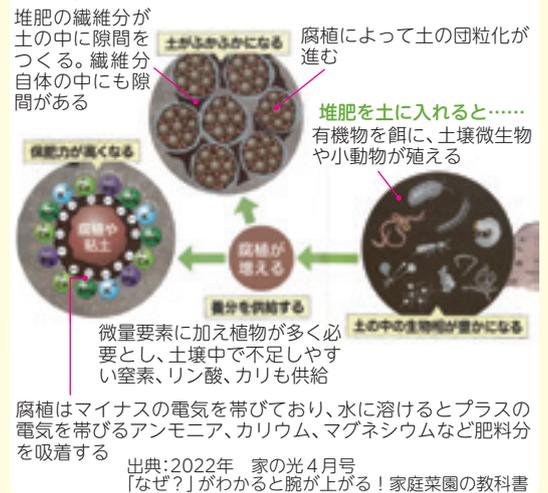
128穴セルトレイ



(商品例) キャベツ苗

**今月の栽培のヒント**

**堆肥(牛ふん・バーク・ケイワン等)が畑に加える効果**



**今月の供給品目**

※在庫・価格等詳細については随時お問い合わせください。  
 ※特注品についても相談の上、対応致します。

品目名	品種名	販売予定	収穫予定
キャベツ	初秋	4月中旬〜	6月下旬〜

**栽培品目(例)**

※作型については、種子袋など品目毎の資料を参照ください。

分類	品目例
葉菜類	ホウレンソウ、コマツナ、チンゲンサイ、パセリ、シソ
根菜類	ラディッシュ、小カブ
果菜類	エダマメ、インゲンマメ、ナス、トマト、ミニトマト

**農繁期の農機修理 受付について**

5月3日(水)から6月3日(土)までの期間の土曜日・祝日は、右記の通り受付いたします。

受付日	5月3日(水)・4日(木)・5日(金)の祝日 5月6日・13日・20日・27日の土曜日 6月3日の土曜日	お問い合わせ先
受付時間	8:00~15:30	安芸津アグリセンター 電話0846-46-1017 携帯090-7375-1456

※受付状況により即日対応できない場合があります。予めご了承ください。